

令和2年度 美術館協議会 会議録

日時	令和3年3月23日(火) 15:30～17:15
場所	福岡市美術館 レクチャールーム
出席者	協議会委員：浦上会長外 計9名 福岡市美術館：中山総館長外 計8名 福岡アジア美術館：山方総館長外 計8名
議題	(1) 正副会長の選任 (2) 福岡市美術館令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について (3) 福岡アジア美術館令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について (4) その他

1 開会

2 総館長挨拶(内容省略) 中山福岡市美術館総館長より挨拶

3 議題

(1) 正副会長の選任

(福岡市美術館金子課長)

福岡市美術館条例第17条, 福岡市美術館条例施行規則第23条に基づき, 委員の互選により定めることになっているが, どなたか会長, 副会長へのご意見はないか。

意見がなければ, 事務局としては再任委員の方から会長を福岡大学の浦上 委員に, また, 副会長は本日欠席であるが, 前の任期に引き続き植野委員にお願いしたい。異議がなければ, 拍手をもって承認いただきたいがよろしいか。

～(拍手)～

それでは, 会長を浦上委員, 副会長を植野委員にお願いする。

(2) 福岡市美術館令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について

山口係長より報告

(3) 福岡アジア美術館令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について

中尾係長より報告

会 長 それでは、福岡市美術館と福岡アジア美術館の説明について、ご質問や意見をおうかがいしたい。

委 員 福岡市美術館の資料 20 ページのアウトリーチプログラムのどこでも美術館についてうかがいたい。これは美術館に来にくい、来られない子どもや高齢者を対象として、学校や公民館で鑑賞・制作活動を行うということですが、実際にはどのようなことをしているのでしょうか。

事務局 この事業は美術館の休館中に始めた活動で、当館の所蔵作品のレプリカやアーティストが制作した実物作品を持ち出して、実施しております。最初は学校の授業用でしたが、現在は公民館にも作品を持ち出してあります。実際には参加者で作品を鑑賞し、制作活動を行っております。例えば、《韃靼人狩猟図屏風》の複製を鑑賞し、日本画を描いてみるというようなことや、シャガール《空飛ぶアトラージュ》の複製画を鑑賞する場合であれば、同時に油絵に関することを学んだり、また、当館はテキスタイルも多く所蔵しておりますので、それらを素材に着付け等の体験を行っております。

委 員 講師の派遣は有料でしょうか？

事務局 無料です。公民館には令和 3 年度の募集要項を既にお送りしております。4 月半ば頃までに応募いただいて、学校からの応募の少ない 6～9 月に実施する予定としております。

委 員 アジア美術館の 19 ページにあるアートカフェについてですが、この利用者数はどのようなもののでしょうか？また、以前は別の施設だったのでしょうか？

事務局 7 F にカフェと図書を設置しております。利用者数にはお茶する人やイベント参加者も含まれます。

事務局 現在、1 万冊の本を置いており、以前は広いラウンジでした。

委 員 新型コロナウイルスの影響で、車いすを利用している障がい者へのご案内の仕方が何か変わったところがありますか？来館者数の増減はどのような状況でしょうか。

 また、オンラインによる市民向けのプログラムを作って、発信したとのことでしたが、障がいのある人たちもそうしたプログラムを利用したいと思うんですね。来館しにくい障がい者も直接、作品を観たいと思うのですが、オンラインのプログラムは来館したいという気持ちをもってもらう導入として、面白いと思います。

 例えば、視覚障がい者であれば、説明を聞いて鑑賞するという方法がありますが、他の方の迷惑になるということもあり、躊躇され

ることもあるのですが、まずオンラインでやってみてというのは導入としてあってしかりだなあと思いました。

事務局

オンラインプログラムをどのような形で実施しているのか、実績と今後の予定をもう少し詳しく教えていただけないでしょうか。

美術館につきましては、団体での利用は減少というか、利用がほぼなくなっています。

今年度の新しい試みとして視覚障がい者、聴覚障がい者、車いす利用者向けの「バリアフリーギャラリーツアー」を実施いたしました。この事業は来年度も実施する予定です。

オンラインプログラムについては、夏休みこども美術館やファミリーデーの子ども向け、親子向けのものが中心でした。その他には美術館や作品を紹介した動画を You Tube で公開しております。

また、来年度はボランティアによるギャラリーツアーを、ズームを使って、オンラインで開催する予定ですので、美術館に来にくい人たちにはぜひ利用していただきたいと考えております。

事務局

アジア美術館につきましては、現状ではオンラインでの障がい者向けのサービスは予定しておりませんが、障がい者向けに限らず、新型コロナ対策としてもワークショップなどをリアルとオンラインのハイブリッドで行うことも検討していかなければならないと考えております。

過去の実績につきましては、現在は終了しておりますが、「飛び出せ、アジア美術館」という事業を特別支援学校向けに実施しておりました。現在は、特別支援学校・学級の皆さんの来館を促すために、生徒の皆さんとアジアの作家のワークショップを行っています。また、そうした事業実施のため、美術館のボランティアを対象にした障がい者サポートの研修を行い、体制作りを図っております。

委員

オンライン活用の話題の中でスクールプログラムの利用が減ったとの話がありましたので、学校の状況を少し補足します。現在も市立の小中学校は公共交通機関を使用した学校外活動はできなくなっており、貸し切りバスも修学旅行のみOKとなっている状況です。美術館に来られた学校も歩いて来れる範囲の学校だろうと思います。また、美術館は不特定多数が来る施設ですので、来館を控えている学校もあると思います。昨年5月に学校が再開してから、こうした厳しい何もできないような状況が3学期から変わってきて、外部の講師を招くことも、コロナ対策をした上でできるようになってきています。

来年度も直接美術館に出向いて、子どもたちが何かできるかどうかは分からないのですが、オンラインでのワークショップ等のプログラムがあれば、楽しいだろうなと思いますし、一緒にやってみようという企画があれば、活用希望もあるのではないのでしょうか。作品鑑賞も本当は実物を見たいところなのですが、全く機会がないということであればズームでということもやむをえないのかなと思います。そうしたところを工夫していただけると、美術館とのかわりが増えると思います。ただ、来年度、アウトリーチ活動は増えるのではないのでしょうか。

事務局

ご意見のとおりと考えておりますので、オンライン活動をどのような形で行うか検討してまいります。

会長

私も大学で学生たちには本物を観なさいと話しますが、中には美術館に一度も来たことがないという学生もいます。それはどうしてかなあと考えますと、小さい頃に美術館に行くという経験がない人が多いのではと思います。こうした状況を打開するためには、小中学生の頃から、美術館に行く経験ができるよう若い人や子ども向けの企画があっても良いのではと考えます。団体で来るのは難しいかもしれませんが、夏休みにでも来れるような企画があっても良いのではと思います。アジア美術館には絵本ミュージアムがありますが、市美もリニューアルで、たくさんの方が来やすくなっていますが、そうした企画を考えていただければと思います。

委員

ここ数年文科省から、学校の学習活動の中でタブレットを使用するよう話があっており、オンライン化の波は確実に来ているので、うまく使えると良いと思います。

市教育委員会とも連携して、子どもたちが自分たちのタブレットで美術館やアジア美術館に日常的に触れられるとより身近に感じられると思うので、そういった工夫を考えてほしいと思います。

会長

インターネットの情報に関しては、先ほどの説明の中では、アジア美術館はフェイスブックやインスタグラムを積極的に利用しているとの説明がありましたが、市美はどうでしょうか？

事務局

市美でも、オンラインという形でしかお客様と接する機会がなくなっただけからは、定期的にブログやフェイスブックを更新しております。また、ブログで発信した際にはインスタグラム等でお知らせし、できるだけたくさんの方に見ていただけるよう取り組んでおり、反響もございます。こうした取り組みはコロナ以降も大事な取り組みであると考えております。

委員 新型コロナウイルスの影響で事業計画が大きく変わったり、見直さなければならないことも多くあったと思います。1年前からの緊急事態宣言であったり、市民が出歩けないような状況が6月頃まであり、7～8月頃に、最初に美術館、博物館に行きたい、芸術、美術に触れたいという声があがったと思います。そうした声は美術館には届いていたのでしょうか？そうした話があれば、少し伺いたいのですが。

事務局 市美では特別展は昨年秋に再開したのですが、展覧会に来たかったとの声はお客様からもありました。美術館としても手探りで展覧会を開催している状況ではありますが、広々とした空間で、会話もなく、作品に向き合っているという状況は問題の少ない場所ではあると思うので、展覧会、美術館は安全であることをもっとアピールしていきたいと考えております。

事務局 アンケート等で上がってきている話ではないのですが、来館された方からは人の少ない美術館もいいよねという話がありました。

事務局 私はアジア美術館の総館長と福岡市文化芸術振興財団の専務理事をしているのですが、アジア美術館の資料18ページに記載されております九響のコンサート等3つの事業をアジア美術館と文化芸術振興財団が連携して開催しております。アンケートの中では、こうした事業を開催してもらって良かったという意見もあり、定員の2倍、4倍の申し込みもありました。美術館に来たいとの市民のニーズはあったものと考えております。

委員 来年度も展覧会を開催されると思うのですが、新型コロナウイルス対策はどのように行われる予定でしょうか？

事務局 感染防止対策に関しては、ゴッホ展のような多くの集客が見込まれる展覧会もあり、検温、マスクの配布、手指の消毒といった当たり前の対策から、もう一つ違うレベルの対策で言うと入館者の制限等もあるのですが、現場の入館者の状況を見極めながら、誘導等の対応をきめ細かく実施したいと考えております。また、事前の検討、シミュレーションを充分に行いたいと思います。

委員 2点お聞かせください。ひとつは、美術館は閉塞的なイメージがありますが、新型コロナウイルス対策として、展示室の換気はどのように行われているのでしょうか。

もう一つは、2階にキッズスペースがありますが、美術館は大濠公園という場所からも家族連れのお客さんも多いと思われるので、大きなイベント等の際には託児等があれば良いと思うのですが、い

かがでしょうか？

事務局

展示室の換気につきましては、展示室の空調は外気を取り入れて温度の調整を行うシステムになっております。また、展示室内の空気の容量が圧倒的に大きいので、感染対策上で言うと、優良な空気を保つことができる施設ですので、問題ないと考えております。

ただし、今いるレクチャールーム等についてはパッケージエアコンを設置しておりますので、十分な換気、場合によっては人数制限といった対応が必要と考えております。

また、特別展で人数が多い場合には、いろいろな対策を考えなければならぬのですが、最終的には入場制限ということも考えないといけないと思います。ただし、展示室の空間に平均的に人がいるわけではないので、一概にどうするとは言いきれないのですが、最終的には状況を見て、入場制限ということかなと思います。本日、見ていただいたコレクション展示室のような状況であれば、まったく問題ないと考えております。

事務局

キッズスペースについては、子どもが触れるものがたくさんあり、その消毒が困難であるため、現在は閉めさせていただいております。託児はないのですが、授乳室のみ開けております。触れるものを除いて、場所だけ開けるということもあるのですが、感染状況次第で、キッズスペースの利用の仕方については検討が必要と考えております。

委員

2点、質問させてください。1点は絵本ミュージアムの参加者が5万人から3倍に増えております、遠方からの方が多かったと思いますが、オンラインの参加者をリアルに繋げるための努力、工夫を何かされているのでしょうか。

子ども向け、ファミリー向けの事業については、我々のHPにも掲載させていただきたいので、情報をいただければと思います。また、参加者の感想も教えていただけると、より上手く掲載することができると思いますので、教えてください。

事務局

まず、絵本ミュージアムの参加者が3倍になっている理由はご推察のとおり、オンラインによる遠方からの参加者が増えたということ、また、バイリンガルにしておりますので、海外からの参加者もありました。コンテンツを順次増やしていったので、ファンの方が何度もアクセスするということがございました。

オンラインによるメリットとして、健康、体調、状況を問わず参加が可能ということが挙げられます。絵本ミュージアムに関して

は、令和3年度はリアルとオンラインを有効に活用し、ぜひ実際の誘客につなげたいと考えております。

事務局

情報提供については、ぜひ協力をお願いします。

オンラインでの作品鑑賞やワークショップ実施に関しては、対面での体験と比較すると分かりにくいという側面もあったのですが、想定以上に楽しかったという感想もあり、好評だったと考えております。実際にオンラインギャラリーツアーに参加された方が作品を観に来館されたとの話も伺っております。

委員

質問ではないのですが、1点お願いです。中庭にありますリ・ウーファンさんの作品は、韓国ではなかなか観ることができない作品であり、福岡で観れることはすごいことなので、ブログ等でもうちよつと詳しく紹介してもらえると嬉しいです。

委員

美術館の中で、音声ガイドについて、作品の解説という側面もあるのですが、これで来館者の動線もコントロールできるというメリットもあるので、ぜひ導入を検討していただきたい。

もう1点は来館者数については、目標数値は定められているのでしょうか。それによって広報活動とかも変わってくると思われまます。ただ、資料の中の組織図をみると、なかなか厳しいとは思いますが……。ある程度の目標数値がないと、結果が多いのか、少ないのかの判断もつかないので、目標数値は設定すべきと思いますが、いかがでしょうか。

事務局

当然ながら美術館も市の施設でありますので、事業としての目標数値はありますが、昨年度に関しては、達成は困難な状態ではあります。また、今後は、今まであまり顧みられることがなかった質、つまり数だけではなく、来館者の満足度といった点についても目標を示せるようなシステムも検討していきたいと考えております。

4 退職者紹介（内容省略） 黒田福岡アジア美術館運営部長より挨拶

5 総館長挨拶（内容省略） 山方福岡アジア美術館総館長より挨拶

6 閉会